



Japan-Indonesia Conference on Construction for CDM



第4回日インドネシア建設会議(CDMセミナー)の結果概要について

平成 21年3月12日

1. 趣旨

国土交通省は、去る2月25日、インドネシア共和国と共に「第4回日インドネシア建設会議(CDMセミナー)」を開催し、両国より多数の関係者が参加して活発な情報交換が行いました。

本会議は、過去3回会議を開催し、第1回会議においては、今回と同様CDMをテーマに会議が開催され、これを契機にインドネシア公共事業省の協力を得て、ジョグジャカルタでのCDM事業化が実現されたところです。今後、CDMによるインフラ整備を通じ、地球温暖化対策とさらなる両国の協力関係の強化、また、円滑なCDMプロジェクトの推進のため、本会議を開催しました。両国の建設会社及び関連団体、加えてCDMの推進において重要な役割を担うインドネシア国地方自治体関係者ら約130名が参加しました。

2. 日時場所

日時：平成21年2月25日(水) 9:00～

場所：ジャカルタ市内 ホテル・ニッコー・ジャカルタ

3. 参加予定者

(1)日本側

国土交通省 榊 国土交通審議官 他

外務省 前田 在インドネシア日本国大使館公使

在インドネシア 日系建設企業 等

(2)インドネシア側

公共事業省 ジョコ公共事業大臣 他

環境省、地方公共団体 等

4. セミナー内容

1) 前田公使より、日本国政府は、昨年9月に供与された「クールアースパートナーシップ」に基づく「気候変動プログラムローン」により、インドネシア政府が実施する一連の気候変動対策に対して支援する旨の言及がされたほか、CDMは、インドネシア政府が今後実施する気候変動対策の重要なスキームのひとつであり、日本とインドネシアの本セミナーを通じた繋がりに期待される旨の挨拶があった。

2) 榊国土交通審議官より、現下の厳しい経済状況を脱するためにも、環境対策にも寄与する良好なインフラ整備が重要であり、本会議を機会にCDM事業のさらなる進捗に期待する旨の言及がされたほか、3年前に同テーマで実施した本セミナーを機会に、今般ジョグジャカルタでの廃棄物処理場が日本国政府承認での成果の結実など、今後もさらなる友好・協力関係の強化を期待する旨の挨拶

があった。

3) ジョコ公共事業大臣より、CDM の活用は、環境品質改善、インフラ整備でのコスト削減、地球温暖化回避に寄与できることに期待が表明されるとともに、円滑な事業推進にあたり、両国政府、地方自治体、民間企業、投資家等の相互協力が重要である旨の挨拶があった。

4) 講演では、日本側より、ジョグジャカルタ地域における廃棄物埋立最終処分場からのガス回収や西ジャワ州における廃棄物中間処理施設の開発についての事例紹介、インドネシア側よりバリ島デンパサール地域における廃棄物処理問題やベカシ市における廃棄物処理の取組についての事例紹介等がされたほか、両国政府・企業等の関係者によるパネルディスカッションも行われた。



榊国土交通審議官、ジョコ大臣、前田公使



会議風景

問い合わせ先 代表電話 03-5253-8111

国土交通省 総合政策局 国際建設市場室 小森 ex.25-213、河原 ex.25-215

国土交通省 総合政策局 環境政策課 二橋 ex.24-432、斎藤 ex.24-434